

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

葛原保育園

葛原保育園は、昭和29年より葛原地域自治会運営の園で50余年を経過し、平成18年4月定員90名で社会福祉法人葛原会の園として開園しました。

開園以来6年目に当たります。子ども一人ひとりを大切に、健全な心身の発達を図り、地域と密接に交流して地域に愛される園を目指してまいりました。

法人の発足以前より保護者会が組織化されており、今日も継続をして子どもの健やかな成長を願い保育士と共に活発に活動しております。

子どもの発達に応じたより良い環境と質の高い保育を行うために園内研修は勿論、外でのいろいろな機関主催の研修にもできるだけ多く参加して保育士全員への周知により、保育士一人ひとりの保育力を身につけるよう努力を重ねてきました。

しかし、他の園との交流が少なかつたためある意味で枠の中に入り込みがちであることを反省し、第三者評価を受けさせて頂きたい旨希望しました。毎日の保育実践内容が、評価基準で38項目（詳細237項目）に亘っていることについて一項目ずつ園内研修で検討していく際に十分行き届いていないことにも気づき、保育士の研修を深めるうえでたいへん奥深い内容であることをあらためて自覚しました。

現代社会に生きる子どもたちの育成に保育園が果たす使命の大きさを鑑み、絶えまない研修と努力を継続していかなければならないことを痛感しその機会を与えていただきましたことに感謝申し上げます。

今回（11月）第三者評価事業に参加して一項目ずつ職員で確認していく中で、行き届いていない項目については、改めて保育の見直しをしていくことを共通理解できたことが良かったと思います。

また、実践の記録の重要さとまとめ方の不備や、健康安全面のマニュアルは、その理論的な内容ばかりでなく実際に事故や食中毒などが発生した場合を想定して、保育士が組織的に動くことができる生きたマニュアルを作成しておくことも反省し、今後、地域の子育て支援に更に努力し、職員全員が保護者との信頼関係を築き、常に子どもの幸せを願い最善の保育を行うよう研鑽に努めます。